

ISAP理事会

(ニューヨーク&ワシントンD. C.)

出張報告

舗装チーム

久保 和幸

ISAP理事会風景

- 1月12日の午後から開催
- 出席者は日本を除けば15名程度。奥がManfred Partl会長
- 日本での会議に関する主な決定事項は、
 - 会議名はISAPNagoya2010
 - 会議スケジュールは了解
 - 論文テーマも了解
 - Keynote SpeechについてはISAPから意見を後日送付
 - Advisory Committeeメンバー案についても同様
 - REAAAとの連携の件は了解
 - 一般参加者への展開も了解

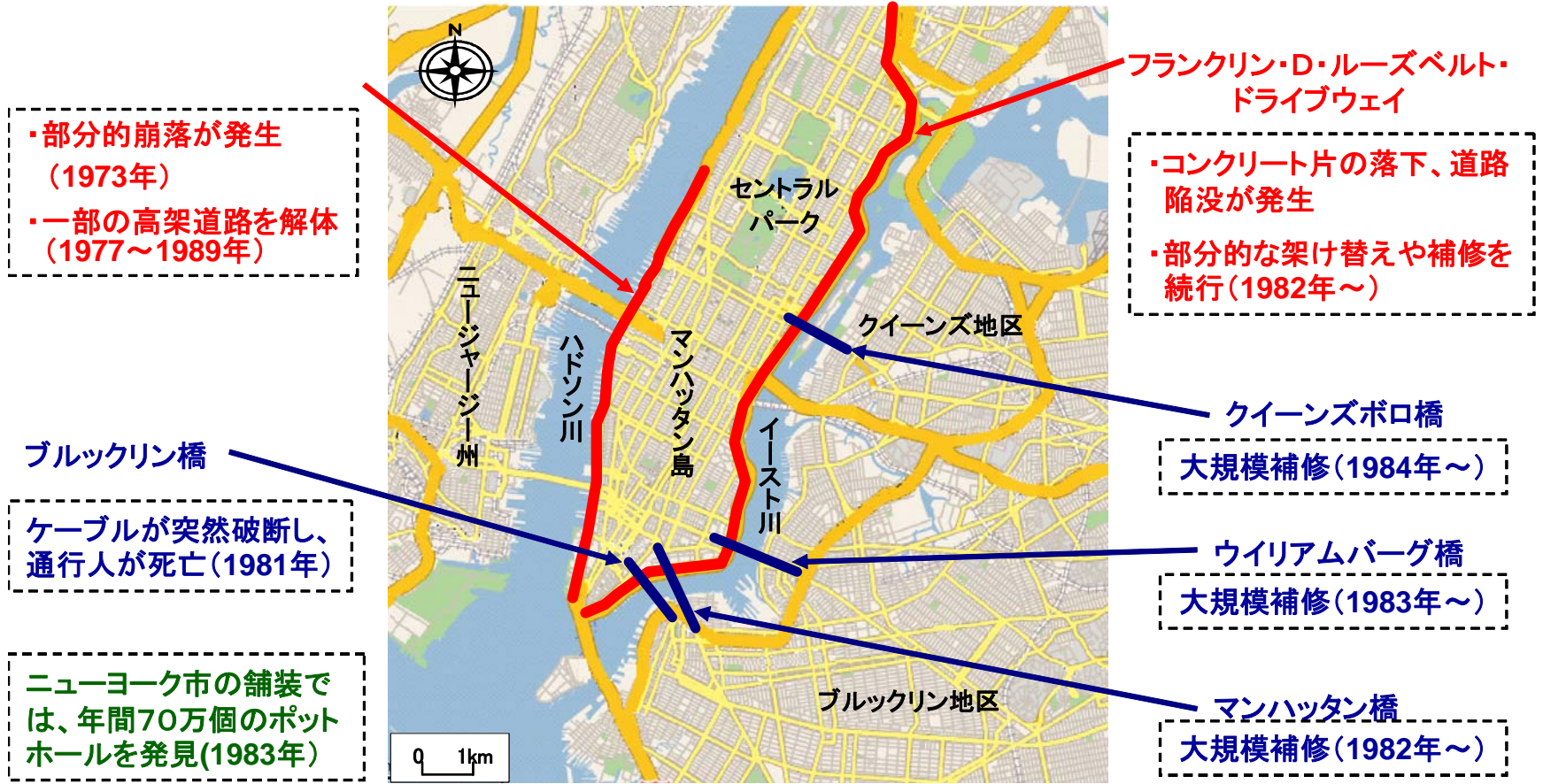


バッテリーパーク付近の道路

- バッテリーパーク内の歩道。土系舗装というより土舗装。削ろうと思えば削れるが、意外と固い。雨が少ないのか、パリで見かけたような水みちも見られなかった。
- フェリーターミナル付近の道路。無造作にパッチングやクラックシールが行われていて、決して見栄えはよくない。マンハッタン市街地はもとより、空港から市内に向かう幹線道路も概して平坦性は悪い。



荒廃するアメリカの象徴(ブルックリン橋)



荒廃するアメリカの象徴(ブルックリン橋)

- ブルックリン橋の中央に設置されている歩道。ブルックリンからマンハッタンに向かう通勤・通学のほか、ジョギングする人の姿も多数見受けられた。
- 車道には激しいわだち掘れ。
- 舗装材がはく離し、床版が見える。



D. C. 内の横断歩道

- 横断歩道部だけコンクリート舗装で施工されている
- カラー舗装の代わりか？
- アスファルト舗装との接合部分に特に不具合は見られなかった
- 都市内で重交通路線ではないため？



D.C.郊外の幹線道路

- ダレス空港付近の幹線道路。
- 車道部のみ打ち換えた跡。
- 路側はポットホールが発生。
- 車道にもクラックが発生し、多数のクラックシールの跡。
- コンクリート橋の上はコンクリート舗装。
- アスファルト舗装との接合部では結構大きめの段差あり。

